



赤磐

平成28年12月議会 第47号

市議会だより

12月議会のあらまし	2P
委員会のうごき	6P
9人の議員が一般質問	9P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

発行/平成29年1月27日 編集/赤磐市議会広報編集特別委員会 所在地/〒709-0898 岡山県赤磐市下市344番地 TEL(086)955-2945 FAX(086)955-5348

12月定例会のあらまし

議案審議

12月定例会を11月25日から12月16日まで、22日間の会期で開催した。議案25件を可決、請願2件を採択とし、議員発議の意見書2件を可決、1件を否決した。

指定管理者の指定

吉井地区高齢者福祉施設（つつじ荘・あかまつ荘）

問 指定管理者の指定は、公募か非公募か。また、選定方法は。

答 非公募で社会福祉法人江原恵明会を指定管理者とした。選定方法の基準は、「赤磐市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例」に基づいて指定管理要項を定め、管理運営の事業計画等を記載した指定管理者指定申請書の提出を求めて、指定管理者検討委員会に諮り候補者の選定をした。

問 なぜ非公募か。選定基準は。

答 平成18年9月より指定管理者として3期、約10年間問題もなく運営が行われている実績がある。隣接するケアハウスローズガーデンと、この施設を一体的に運営することで人員配置および厨房の共同利用など、合理的な運営ができることから非公募で決定した。

吉井特産館

問 吉井直売所加工販売運営委員会というところで設置して、直売をしているが、加工の運営、加工する場所等の指定はどう

なっているのか。

答 農産物の販売による農家所得の向上と地域の活性化を目的として平成8年に福田地区に整備した施設。運営は生産者等で構成された生産物直売施設運営協議会が設置当初から運営に当たっている。

問 協議会には加工施設の組合、是里西のごぼう生産組合、小鎌の梅生産組合、福田のすずらんの会が加盟して運営に当たっている。加工施設の組合は非常に高齢化が進んでいる。以前のような活動ができていない組織もある。こうした人々の意見を聞きながら、施設の運営を進めてもらっている。

周匝下請 共同作業所

問 周匝下請共同作業所は機能を果たしているのか。20年以上来ている業者へ直に出すのも一つの考え方と思うが、いかに考えるか。

答 この施設は、昭和63年に周匝地区に整備された施設で、運営は吉井地域の農業者等の就労機会確保、施設の管理等を行うため周匝下請共同作業組合という組織を設立して、設置当初から運営に当たっている。

仁堀下請 共同作業所

問 指定管理ではなく払い下げをして仁美地区に任せて、物流をするとか、何かをするというのを区長や夢百笑を中心にやってもらえば活性化が図れると思うが、また借り手がなく、今どのくらいの期間空白で、そのときまでの前の月額の単価はいくらか。また、使用料を下げてはどうか。

答 平成22年度まで利用があった。その後は企業をいろいろと模索したが、利用に至っていない。この施設を地域の活性化につなげてはという話だが、この施設は地域の雇用場として非常に重要な施設と考えており、

当初の目的どおり、地域の農家の人々の雇用の機会のできる場所として活用を最優先としている。月額5万5000円で条例に規定されている。また、使用料については、必要があれば検討していく。

補正予算

一般会計

問 総務費の市民バス運行委託料71万8000円について詳細な説明を。

答 本年度公共交通に関する地域のニーズを把握することを目的に、赤坂地域・吉井地域の人々にヒアリング調査を行ったところ、近年路線バスの減少によりデマンドバスや市民バスとの接続時間が長く、病院や診療所に通う人々にとってバスの乗りかえや長い待ち時間などが大きな負担になっている。

このたび岡山東農業協同組合から10人乗りのワ

ゴン車が寄贈される。この車両を活用して診療所や医院への通院に不便を感じている赤坂、吉井地域で通院バスとして試験的に運行して、地域のニーズ調査を行うための経費を計上した。

問 土木費の調査委託料596万2000円の詳細な説明を。

答 熊山駅前周辺整備事業の用地の取得に際して、事業用地内にある住宅、倉庫、車庫などの建物、境界上に設けられている塀、囲障、屋外の給排水設備、ガス設備、庭の立竹木などの工作物の調査を行い、その補償額を算定するための業務委託料である。

問 熊山駅を全体としてどのように計画をし、整備していくのか。事業費はいくらで計画年度は。

答 熊山駅前周辺の約2000㎡に、ロータリー、駐車場、休憩所、公衆トイレ、観光案内、郵便局などの業務施設を計画

し、駅前周辺を整備するものである。概算事業費として、計画策定費、調査測量設計費、用地補償費、造成および施設等の建築工事を含め2億5000万円から3億円程度を予定している。

整備年次の具体的な計画はこれからだが、できるだけ早期の完成を目指していく。

問 商工費の委託料、工事請負費と負担金、補助及び交付金の内容説明を。

答 吉井川流域広域観光連携事業の委託料は、片鉄口マン街道を広域観光資源として有効に活用していくため、県、和気町と協力して体験型観光周遊の企画や運行などを行うプロモーション費用300万円を計上している。

工事請負費は施設の整備や案内看板として400万円を計上し、負担金は観光客の満足度を高めるため、市の特産品等開発補助金として300万

円を計上している。

ものづくり創業支援事業は、基幹産業である農業を軸に食品加工、製造、飲食業などの創業を支援する。内訳は、創業希望者に対して専門家のアドバイザーをもらうための委託料150万円、創業希望者の経営技術の習得への取り組みに対するセミナーへの参加、創業のための製造販売拠点の整備に対する費用の補助金として350万円を計上している。

問 衛生費の事業者選定事業委託料について繰り越すとのことだが、現在の状況、そして繰り越す次年度の計画についての説明を。

答 事業者選定支援業務委託料は、旧市民病院の土地、建物の再利用についての業務で、現在行っている基本構想策定業務の次の段階として運営事業者、設計および建設に係る事業者を選定する支援のための委託料で、平成29年度中の完成を予定

しているため、全額を繰り越す。

現在の状況と次年度の内容は、本年度中に運営事業者の公募を行い、来年度に運営事業者の選定、設計・建設事業者の公募、選定を行う計画である。

国民健康保険特別会計

問 熊山診療所補正予算9008万7000円の減額補正の理由は。

答 当初予算でC型慢性肝炎治療対象者を20人、延べ60カ月分を見込んでいたが、治療患者が5人、延べ8カ月の治療を行い、今後の治療予定患者が見込めないことから診療収入および治療に必要な医薬材料費の減額補正を行うものである。

反対討論

議第59号 一般職の任期付職員を採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

議第61号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議第61号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

今回の改定は国の人事院の勧告により職員の給与の改定が行われるものである。

増額される市職員の平均年収は、国や県が基準としているものには当てはまらないのが現実である。市長はこの4年間で市の財政が好転したと言われた。

しかし、財政健全化アクションプランによる市の財政健全化の本身は、そのほとんどが市民に関する予算の削減であるため、この2つの議案に反対する。

賛成討論

議第76号 平成28年度一般会計補正予算

算

この補正予算の中には問題点として、2100万円の職員人件費の増額など、行政改革に逆行するものも含まれていることを指摘するにとどめ、賛成する。

請願

請願第1号 「地域の实情に応じた医療供給体制を求める」 請願書 【採択】

【賛成討論】

この請願の趣旨によれば、2016年の4月に国の指導により策定した「岡山県保健医療計画」の中で、県下各地域の地域医療構想を策定している。

地域医療構想の中で、赤磐市が入っている県東南部地域は、10年後の2025年時点での医療機関の必要な病床数を16・7%削減するとなっている。

この地域医療構想とは、高齢化社会の医療機能の分化と連携を推進するために現在県が策定している計画である。

国の推定方式は、地域の病床数を全国一律に削減する計画である。今回請願をされた医療労働組合によれば、各病床機能の稼働率を一律削減することには多くの問題があり、国の方式の抜本的な見直しが必要である。地域の医療供給体制が、地域の实情に応じた内容となるよう実現させていきたいので、賛成する。

請願第2号 年金の毎月支給を求める請願 【採択】

【賛成討論】

(2人)

退職した高齢者にとって年金は生活の柱である。現在、2カ月に一度の支給のため、「生活費の使い方に失敗することがある」など、訴える人がいるのはよく理解できる。

年金積立時の徴収は、毎月行われているのに2カ月に一度の支払いはおかしいと思わないか。

年金から介護保険料、国民健康保険料は天引き、先取りをされており、この日本の現状は異常である。

主要国の年金支給は毎月支給か、週1回の支給が当たり前となっている。生活のサイクルに合わせた毎月支給が必要であり、賛成する。
・4000万人の年金受給者の切なる要求となっている。年金組合では全国で同じ要求で請願活動をされており、今がチャンス時期である。地方から意見を上げて実現させていきたいので、賛成する。

総務文教 常任委員会

12月7日に総務文教常任委員会を行った。
議案6件について審査した。

条例改正

市職員の勤務時間、休暇等に関する条例

問 介護休暇の期間は以前から6カ月か。

答 従前から6カ月の規定である。

問 民間企業では、介護休暇を取得すると健保から給付金がもらえるが、市ではどうなっているのか。

答 共済組合から、2週間以上の介護休暇を取得した者に対し、3カ月を超えない範囲で標準報酬日額の40%が給付される。

市職員の給与に関する条例

問 給与改定の総額はいくらになるのか。

答 勤勉手当の増額を含めて、全体で約2100万円である。

問 一般行政職ほか各種の職員はどのように増額になるのか。

答 一般行政職全体で平均0・21%の引き上げ率であり、若年層が1500円程度、幹部職員が平均で400円程度の単価増額である。その他の職種についても引き上げ率は同じである。

手数料条例

問 国外犯罪被害とは何を指すのか。

答 日本国外でテロ行為等に巻き込まれた場合である。

一般会計 補正予算

問 一般寄附金60万円の

内容は。

答 市民バス運行経費の寄附である。

問 岡山東農業協同組合から10人乗りワゴン車を寄附してもらえるとあるが、その内容は。

答 農協共済連が地域貢献事業の一環で、市北部地域において通院等交通の便に困っている人が多

いという判断から、市に對して車の寄附を行うものである。

問 現在運行しているバスとの問題点はないのか。

答 吉井地域のデマンドバス、赤坂地域の市民バスの運行日以外の運行であり、重複はない。

問 市職員の人件費について、条例改正の部分では、総額約2100万円の増額になると説明を受けたが、補正予算で減額になっている理由は。

答 約2100万円というのは職員全体に支給する場合の想定であるが、

実際には、育休、病休で支給されない職員や予定外の職員の退職等があり、補正予算では減額となっている。

問 今回設置される防犯カメラの画素数はいくらか。

また、防犯カメラ1台の値段は。

また、防犯カメラ1台の値段は。

答 48万画素から200万画素の範囲であり、値段は機種によるが、30万円から50万円である。

問 追加要望はどういうやり方で求めているのか。

答 本庁および各支所の担当者から、各地区代表への連絡によって要望をとっている。

問 県の補助は今年で終わるが、今後地域情勢が変わり、防犯カメラの設置要望が地区から上がった場合、市はどう対応するのか。

答 防犯カメラを設置した状況を見ながら、必要に応じて市単独での設置

また、防犯カメラ1台の値段は。



防犯カメラ

も視野に入れている。考えていきたい。

問 相談支援センター開設に伴う備品購入だが、事務用机、椅子、パーテーションはどこで購入するか決まっているのか。また、市に指名業者として登録している事業者になるのか。

答 購入先は決まっていない。予算がついてから決定する。また、業者については指名業者優先で考えたい。

問 相談支援センターは、どこで開設を予定しているのか。

答 社会福祉課の北側の相談室を撤去し、そこを相談支援センターの執務室として整備し、開設する予定である。また、1階の第1会議室をパーテーションで仕切り、相談室を3カ所設ける予定である。



10乗りワゴン車 (JA岡山東寄贈)

厚生 常任委員会

12月8日に厚生常任委員会を行った。
議案10件、請願2件について審査した。

国民健康保険税 条例の一部を改 正する条例

問 該当者は外国籍の人か。

答 日本の住民税課税者が対象である。租税条約のない台湾に特化したもので、従来は日本と台湾の二重課税となっていた

が、法律改正により、日本で課税したら台湾では課税しないことになる。

指定管理者の 指定

吉井地区高齢者 福祉施設

問 あかまつ荘に約5000万円かけて改修したが、今後新たなサービスについて、説明を求める。

答 デイサービスセンターの役割が大前提。開所日数の拡大や介護保険の新総合事業への取り組みの提案も受けている。

地域活動支援セ ンターさんよう

問 施設の利用人数は。

答 就労継続支援B型の定員が10人、生活介護の定員が10人の複合事業所で、利用者は1日約16人である。

一般会計

補正予算

問 旧赤磐市民病院再利用事業者選定支援業務について、基本構想の説明を。

答 基本構想の住民アンケートから、小規模多機能型居宅介護、デイサービス、介護予防施設の要望が多い。民間事業者にヒアリング調査を行い、結果、運営については直営でなくノウハウのある

民間で行う。最終的なまとめは、12月末になる。

問 委員会では早い利用開始を要望してきたが、どう考えているのか。

答 現在の案では12年間程度の事業運営を考えている。当初平成31年10月開始を予定していたが、中身を見直し半年短縮して、平成31年4月開始を目指す。



3歳未満の保育園児の様子

問 第3子以降保育料無償化事業費補助金1105万3000円の説明を。

答 県の保育料減免制度が今年度から始まったもので、第3子以降で3歳未満の子どもは所得制限なしで保育料が無料になる制度。今年度の該当者は59人である。

問 子育て世代包括支援センターの中で、地域の様々な関係機関とのネットワークを構築し、必要に応じ社会資源の開発等

を行う。最終的なまとめは、12月末になる。

を行うとあるが、現実はどうか。

答 学校や児童相談所、県の保健機関などの結びつきを深める。NPOなども市民参加も考えている。

問 福祉と教育が一体になることが大切である。支援センターは教育分野とかかわる気はあるのか。

答 大切と考える。子どもの背景は、福祉だけでなく、保健、教育、生活保護費国庫負担金返還金3655万9000円は何人分で、多額の理由は。

で、約10世帯分が当初の見込みより減ったことによる。返還金額が多額な理由は、医療扶助で高度な医療を受けたたり、癌の治療などのケースが少なかつたためである。

国民健康保険 特別会計

問 国保の広域化は仕事量が変化するののか。

答 国保の財政基盤安定のため、平成30年4月開始で進んでいる。現時点では県としての方向性が出ておらず、市としてもはつきりと姿が見えない状況である。

訪問看護ステーション事業特別会計

問 利用者は熊山地域が中心なのか。

答 赤坂や吉井など、北部地域の利用者も多い。

問 職員が5人から8人に増えているが、説明を。

答 熊山診療所の看護師に兼務辞令を出したためである。



改修が終わったあかまつ荘

産業建設 常任委員会

12月9日に産業建設常任委員会を行った。
議案10件について審査した。

指定管理者の 指定

吉井きのこ館

問 平成30年に適化法が切れたらどうなるのか。

答 現在地元と調整中である。地元が受け入れられるのであれば、適化法が切れた段階で移譲したい。

問 農林産物の有効利用を促進し、地域住民の福祉向上にどのような効果があったのか。

答 婦人グループが年間約30日、地区住民が約20日、地元産の山菜、きのこの類の研究や開発、郷土料理の伝承などに使用している。

吉井特産館

問 農家所得の向上と地域活性化につながっているのか。



吉井特産館

るのか。

答 年間約3000万円の売り上げであり、収益状況は、平成27年度の繰越金が約200万円ある。

問 農家の戸数は。

答 登録制で毎年変動はあるが、現在約300戸である。

問 繰越金約200万円

は、どういうことに使うのか。

答 大型冷蔵庫、レジ、陳列ケースなど備品を買いかえるために使う。

周匝下請共同作業所 仁堀下請共同作業所

問 下請作業所の使用料の支払いは。

答 下請共同作業組合が市に入金している。

問 仁堀共同作業所は平成23年から使用していないが。

答 前事業者が撤退後、4件の問い合わせがあったが、建物の規模や立地条件、使用料の関係で誘致に至っていない。指定管理者と協議しながら、今後も募集を続けていく。

問 事業者がいらないのに指定管理に出すのか。

答 下請共同作業所が指定管理を受けて、市内外の事業者から下請を行う。現在事業者はいないが、すぐに活動ができるようにするためである。

問 下請共同作業所の作業内容は。

答 組合が認めれば何でもよい。

一般会計 補正予算

問 吉井川流域広域観光連携事業530万円は、片鉄口マン街道サイクリングロードの休憩所などを整備するということだ



サイクリングロード(休憩施設・案内看板)整備予定場所(稲時地内)

が、全体的にはどのような形になるのか。

答 サイクリングロードは、旧片上鉄道の片上から柵原までである。本市にある休憩施設、案内看板を整備して、利用者の利便性を図り、市内に滞在してもらう目的の事業計画である。

問 サイクリングロードは和気町がかなりの距離を持っていて、和気町と整合性を図りながら整備していく。

問 河川費の立竹木等处

分費100万円は、滝山川と高田川の浚渫を行うということだが、浚渫の要望箇所や順番はどのように決めているのか。

答 河川の浚渫工事については、毎年、年度初めに地元要望がたかさんあるので、市で優先順位をつけて県に要望をしている。その中で、県が状況を確認して決定している。

一般質問

市の考えを問う



9人の議員が登壇し市の考えをたどりました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

問

交通弱者の支援策は

答

赤坂・吉井地域で
通院バスの試験運行を開始



北川勝義議員

問 通院・通学・買い物など交通弱者の足の確保について、積極的に推進すべきではないか。

答 赤坂・吉井地域の通院バスを試験的に運行し、地域のニーズ調査を行う。また、高校生の通学費負担軽減の制度化へ向け検討する。

問 市長は、1期4年間を踏まえて、2期目には赤磐市をどのようなまちにしていきたいのか。

答 ①地域産業の活性化や新たな企業立地、高付加価値を生む産業の創設を進める②保育・医療等の子育て支援、教育の改革、学力向上に取り組む③多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る。

問 映画「種まく旅人」夢のつぎ木」の活用と赤磐市の魅力PRについて

答 ての考えは。

答 多くの媒体を通じて、赤磐市の名前が全国に広まったと確信している。今後も県内外に積極的にPRしていく。

問 学校教育について①吉井中のプール整備②学力向上対策③小学校統廃合問題について。

答 ①吉井中学校のプール整備は、市内小学校プールの老朽化対策を進めていく中で、議会や地域の声を聞きながら進める②産官学連携協力事業など、学力向上に係る施策が成果を上げており、今後も必要とされる施策を進めていく③地域や保護者の声を聞き、子どもの様子や地域のかかわりなど、多面的に検討する。



試験運行する通院バス

問 診療所および周辺整備について。

答 佐伯北診療所の改修工事は28年度末までの工期で実施する。熊山診療所の周辺整備は、本年度中に運営事業者の選定業務を開始し、29年度中に設計・建設事業者を決定して、平成31年度の業務開始を予定している。

表紙のひとこと

山陽1丁目 大垣 進さん 撮影

山陽団地の弥生公園から撮影した初日の出の写真です。見晴らしのいい場所から見る初日の出もきれいですが、住み慣れたまちで初日の出を迎えるのもまたいいものです。

初日の出を見るために遠出をされたという人も多いのではないのでしょうか。わたしたちが住んでいるまちからでもこんなきれいな初日の出が見えるんだと思わせてくれる1枚です。

問 観光PRに映画の次の手は

答 観光資源として活用できる仕掛けをする



松田 勲議員

対応も含め、抜本的な改訂に向け検討作業を進めている。県の観光協会や旅行代理店への持ち込み企画など積極的に行っていく。

道路網・交通網について

問 市の活性化には、道路や交通網は大変大きなポイントになる。道路網では、新大原橋から岡山方面の完全4車線化の促進。

問 映画「種まく旅人」夢のつぎ木」の次の手は考えているのか。市内観光にも早く手を加え、市のアピール、移住・定住にもつながる政策をすべきではないか。

答 映画を活用して、市の知名度の向上、PRを図ると共に、観光振興に全力を傾けていく。現在、ロケ場所の案内看板の設置を進めている。ホームページでは、スマートフォンなどへの

答 交通網では、中心となるバスターミナルをつくり、市営バスを含めた路線バスや高速バスとの連携、東岡山駅方面への路線バスの新設など、過去に何度か質問や提案をしてきた。現状はどのようなに進んでいるのか。



新大原橋

全4車線化について、平成29年度以降には、新大原橋の上部工の架設、橋の前後の道路の整備を行う。北区宿付近では、平成28年度は一部の用地取得、建物補償、建物調査を進めていると聞いている。バスターミナルをつくり、路線バスと高速バスとの連携も重要なものと考え検討を進めていく。東岡山駅方面へのバス路線は、岡山市との連携中核都市圏形成に係る連携協約の中で検討を進めていく。

問 前回の選挙戦後、山陽団地連合町内会の代表や有志が、住民代表や専門家を入れたプロジェクトチームを作って、1日も早く再生に取りかかってほしいと要望している。これまでにいろんな提案も行ってきた。

答 約50年経過の山陽団地は、県営住宅、道路等の老朽化、高齢化が顕在化しており、団地の活性化は市の最重要課題である。市若手職員で検討を

問 山陽団地の活性化に本気で力を入れよ

答 市を挙げて山陽団地の活性化に取り組む



福木京子議員

開始しているが、市長をトップとする本部会議体制を構築し、市を挙げて活性化に取り組んでいく。高校の遠距離通学への補助制度の創設を

問 この問題では何回も質問している。10月の岡山県知事選候補であった植本氏の公約にもなっている。県内で要望が強いという現れである。早急に実施すべきだ。

答 通学費の負担軽減は、子育て支援や定住促進などの施策の大きな柱として、市としてできる限り早期に取り組みを進めていく。その中で県への要望についても、県との役割分担があれば検討していく。



山陽団地の全景

熊山・吉井地域の診療所を有床診療所に

問 市民病院がなくなり、現在熊山診療所は無床診療所となっている。住民は切実にベッドのある診療所を望んでいる。医師や看護師の確保に力を入れて、熊山・吉井地域の診療所をベッドのある有床診療所にするよう県や国に要望し実現してほしいが。

答 有床診療所にするためには、医師や看護師の確保は必要不可欠である。県の医療計画等の会議には参加し要望している。赤磐医師会とも連携し、協議を行っている。

問 映画は5館のうち3館は上映を終了している

答 映画の効果は十分すぎるほど出ている



原田素代議員

が、なぜ地域での上映会ができないのか。また、現在の地区のバス利用状況は。

答 地域での上映の要望は強いので、映画会社と相談する。バスの利用は山陽、赤坂、熊山各1地区の3地区である。

11月6日付の山陽新聞では、市内の「子どもの家」が取り上げられている

問 国や県が予算をつけて取り組んでいるのに、市長は県の補助金を使わない。「地域の理解と支援、信頼の協力体制が必要」というが、これは市が取り組むための「条件」なのか。

答 「条件」とは考えていない。

問 「条件」でないのなら、いつでも要求している



「子どもの家」のリーフレット

ら、いつから市は総合的な支援をするのか、時期を明示するべきである。

答 対話をし、協議等進んでいくことが望まれる。

問 9月議会の際、市長から公設合併浄化槽なんて知らないから教えてほしいと言われた。私のレポートを渡したが、読んだのか。

答 読んで、有効だと感じているが、総合的に検証し、実現可能性の検討を進める予定である。

問 市役所内の子育て支援環境整備について

答 庁舎内の改修計画に盛り込んでいきたい



佐々木雄司議員

う不便が生じているのは改善点ではないか。

答 議員指摘のとおり現在整備ができていない。子育て環境整備を庁舎の改修計画に組み込むなど更なる充実を目指したい。

問 当面の改善として手続きの間は抱っこ紐を外して書類記入などの手続きができるよう、親子一緒に移動できる式のベビーベッドなどを整備してはどうか。

答 庁舎内通路には大勢の往来もあり、移動式のベッドでは安全管理が行き届かない恐れがある。当面の子育て環境整備としてはベビーカーを整備し、貸し出しを行うなどに対応したい。

問 先般、某スーパーマーケットの入口前まで乗り入れる循環バスの姿をみた。素晴らしい取り組みだと感じた。本市にはその他複数の小売店もあり、また、銀行や医療施設もある。高齢で車に乗れない人も増えてきている昨今、それらへの便利な乗り入れ状況はどうなっているのか気になる。

答 循環バスの運営管理会社に尋ねたところ、残念ながら様々な理由によって施設内に乗り入れる運行は前述のスーパーマーケットだけである。循環バスは民間企業の運営であり市が運転を管理するものではないが、市民生活の足について官民連携が強まるよう、理解と協力をお願いしていく。熱心をお願いしていく。



市民課窓口

問 学校給食は大丈夫か

答 安全、安心な学校給食が提供できる



下山哲司議員

食を提供している。外部委託については、まだ結論に達したわけではない。本市では、地産地消も進めていきながら、生産者等と協力し合って頑張っていく。

吉井地域の過疎対策について

問 仁美、布都美地域に長く継続できる支援ができていますか。

答 地方創生先行型交付金を活用した買い物支援、見守りモデル事業でNPO法人まちづくり夢百笑に委託している。移動販売車両を貸与して、買い物支援とあわせて高齢者の見守り、話し相手、困りごと相談等を提供するもので、利用者1回当たり100円の委託料を支払う。協力隊員1人を



夢百笑

委嘱している。今後協力隊員の人数を増やし、他地域、他県の協力隊員相互の事例発表会等に努めて出席し、協力隊員とともに情報交換を行い、本市に有効な事業の導入を進めて支援していく。

市長談話室の内容について聞く。

問 区・町内会、市民団体など5人以上のグループから依頼をもらい、支所や集会所など開催場所へ行き、直接本市の魅力を話し合い、意見を聞く。平成27年は主に子育てと教育、地域の活性化について意見を聞いた。

問 住宅用火災警報器の設置率向上への取り組みは

答 消防職員・団員が協力して設置のお願いをしていく



光成良充議員

末には終了する予定で、調査結果を基に設置率の低い地区に設置のお願いをしていく。未設置の人には警報器の有効性として、火災時に自分の命を守るもので、警報器が鳴って火災に気づき、無事避難できた奏功事例もあるので、設置してもらえよう広報に努めていく。

問 悪質な訪問販売や詐欺行為が懸念される。高齢者の人たちが被害に遭わないよう啓発も必要と思うが。

答 消防職員を装い高齢者をターゲットにした悪質な訪問販売などの事例もあるので、現在行っている設置調査でパンフレット等に記載をして注意喚起をしている。今後、消費生活相談窓口であるくら



住宅用火災警報器

し安全課とも連携して、各種講習会や広報紙などを利用して注意喚起を図っていきたい。

問 平成27年度児童・生徒の問題行動等に関する調査結果や平成28年度全国学力・学習状況調査の結果を見てどう捉え、どう施策を進めるのか。

答 学力はかなり大きな成果が認められ、いじめや暴力行為は改善の兆しはあるものの、不登校児童・生徒の数は増え、依然として厳しい状況である。県の事業を活用し、市内の小中学校に登校支援員やスクールソーシャルワーカーを配置し、児童・生徒への支援と家庭への支援を続けていく。

問 山陽団地の再生・活性化の取り組みは

答 市長をトップとした本部会議を設置する



治徳義明議員

問 市長は就任当初から「山陽団地の再生・活性化」は重要課題のひとつであり、住民と共に検討委員会を設置して取り組みと何度も答弁している。どのように進めるのか。

答 現在、若手職員によるワーキングを行っている。この結果を踏まえて市長をトップとした山陽団地対策本部会議を設置して積極的に課題解決に取り組む。

問 県営住宅の入居率は68・3%である。

答 最大の課題である県営住宅の再開発は、5月、7月、8月に県とミーティング等で要請している。また、県住宅課に担当窓口が開設された。

問 ビジョンを示せば、赤磐市全体の活性化の起爆剤になるのでは。

答 有効な独自性の高いビジョンを示しながら、この大きな課題に早期に立ち向かう。

問 公共擁壁の安全対策の進捗状況は。

答 今年度末の工期で、安定解析、対策工法の検討業務を発注している。

問 観光振興は、地域経済活性化の推進力として、また、新たな成長の原動力として重要である。①ニュー・ツーリズムの取り組みは②広報大使の導入は。



ご当地ナンバープレート

答 ①地域の魅力を提案していく着地型観光の取り組みやテーマ性やストーリー性のある観光資源の掘り起こしを検討する。②赤磐市の魅力を発信していくために準備していく。

問 農業振興の拠点として大きな力を発揮し、観光振興にとっても欠かせない存在である「道の駅」、「まちの駅」の取り組みは。

答 前向きに取り組む。

問 赤磐市の魅力発信のため、ご当地ナンバープレートの導入をすべきでは。

答 できるだけ早い時期に導入に向けて取り組む。

問 農業高校の誘致をすべきでは

答 実行に向け頑張りたい



佐藤武文議員

問 県内15市の中で県立高校がないのは、赤磐市だけである。農業の担い手を育成する農業大学校・試験場の優位性を見逃す手はない。農業を推進するために、農業高校の誘致を積極的に働きかけるべきではないか。

答 誘致には情熱を持っており、伊原木岡山県知事との信頼関係を生かし、実行に向け頑張っていく。

問 積極的に誘致すべきでは

答 市民の安全安心を守るために、赤磐警察署の誘致を積極的に進めるべきではないか。

答 努力をしっかりと継続し、市民の悲願である警察署が赤磐市に立地されるよう努めていく。

問 赤磐産の桃宮内庁献上

問 なぜ赤磐産の桃が宮内庁に献上できないのか。市長自身が、桃を持参しトップセールスを行うべきではないか。

答 献上という榮譽に浴するよう、実行に向け頑張りたい。



赤磐警察署

問 進展の気配が伺えない最終処分地

問 最終処分地は赤磐市に必要なものか。できなかった原因は何か。

答 地域の人々と対話と協議を重ね、引き続き全力を傾けたい。

問 環境アセスメントは5年が経過しているが大丈夫なのか。

答 予定地周辺に大きな変化が起きなければ変更は必要ない。

問 石蓮寺に設置することに変更があるのかないのか。

答 変更することがないことを表明する。

交通安全推進大会が 開催されました

赤磐市交通安全推進大会が、平成28年11月26日（土）に、くまやまふれあいセンターで開催されました。とよた保育園の園児による和太鼓の演奏が披露されて式典の幕が開きました。式典では交通事故犠牲者への黙とう、交通安全功労者への感謝状贈呈や、交通安全宣言などが行われました。



式典後には、川崎医療福祉大学臨床心理学科客員教授の金光義弘氏を講師に「地域の交通安全推進におけるシニアの役割」と題し、講演が行われました。市民一人ひとりが思いやりの心を持ち、交通事故のない、安全で安心できるまちづくりを目指しましょう。

議会を傍聴しませんか

本会議、各常任委員会是一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにも、ぜひ傍聴してください。（本会議：定員30人、各常任委員会：定員10人）

また、本会議については、市のホームページで生中継・録画配信が見られるほか、市役所本庁舎1階市民コーナーにモニターを設置しておりますので、どうぞお気軽にご覧ください。



平成28年赤磐市議会本会議一般傍聴者数
(議場での傍聴者数・延べ人数)

種別	会期	傍聴者数
3月定例会	2月25日～3月18日	37人
6月定例会	6月3日～6月28日	22人
9月定例会	9月1日～9月29日	53人
12月定例会	11月25日～12月16日	13人
合計		125人

平成28年赤磐市議会各常任委員会一般傍聴者数

種別	開催回数	傍聴者数
総務文教	13回	2人
厚生	13回	6人
産業建設	12回	4人
合計		12人

3月定例会 のお知らせ

次回3月定例会は、2月2日から2月24日まで23日間の会期で開催予定です。詳細な日程については、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。多くの皆さんの傍聴をお待ちしております。

議会広報編集特別委員

- 委員長 光成 良充
- 副委員長 保田 守
- 委員 岡崎 達義
- 委員 北川 勝義
- 委員 原田 素代
- 委員 治徳 義明
- 委員 丸山 明

編集後記

今年も西年です。西はトリと読ませて十二支ではニワトリが充てられています。ニワトリといえば昨年は鳥の絵で有名な伊藤若冲生誕300年が記念され各地で展覧会が催されました。京都の青物問屋の長男に生まれ、極彩色の花鳥図を縦横に書き上げ後世に大きな影響を与えたことで有名です。西はもともと酒壺の意味なのですがなせ鶏が充てられたのか明らかではありません。「とりこむ」などと語呂合わせで商売に縁起のいい干支とされています。私たちが広報委員も今回で編集作業を終わります。広報を通じて市民の皆様の信頼を「トリ込めた」でしょうか。